

【基本方針9】

【子どもたちの「こころ」をめぐる現状と課題】

○ 社会の状況

都市化、少子化が進展する中で、家庭の教育力が低下し、地域のつながりも希薄化していることが指摘されています。また、公共のルールやマナーを守らない大人の増加やモラルの低下を指摘する声があり、社会を構成する一人ひとりに、自ら果たすべき責任の自覚や正義感、志などが欠けてきています。

○ 子どもたちの成長・発達上の課題

子どもたちの成長、発達をめぐるっては、身体的には早熟傾向にあるにもかかわらず、精神的・社会的自立が遅れる傾向にあること等が各方面から指摘されています。また、最近では、遊びや消費活動、情報活用能力等における早熟化が進む反面、生産活動や社会性等に未熟さが見られるなど、発達上の課題が顕著になっています。

○ 自尊感情

大阪の子どもたちの自尊感情や進取の精神は、全国の状況と比べると低い傾向にありますが、このことは子どもたちが社会の担い手

として自立し前向きに生きる上で大きな課題となっています。また、物事に対して積極的に取り組むことや、人との関わりの意識も低い傾向にあります。

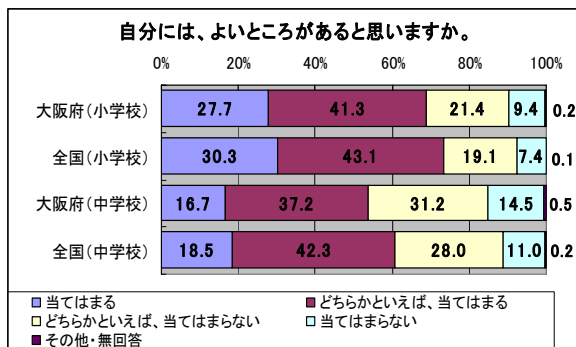
○ 人権教育

人権侵害事象が引き続き生起しており、その原因として、人権に関する知識・理解の不十分さ、知識・理解が実践的態度につながっていない等の課題が指摘されています。

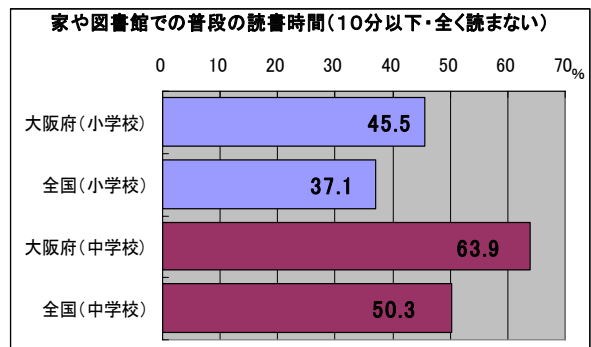
また、ネット上の人権侵害事象への対応や命の尊さを教える教育の必要性等、新たな人権課題に即応した教育のあり方が問われるなど、社会の変化に伴った人権文化の創造が求められています。

○ 読書活動・文化施設の利用

日頃、読書をほとんどしない児童生徒の割合が全国と比較して高く、全校一斉読書の実施率も低くなっています。また、博物館、美術館等の文化施設を利用することも少なくなっています。



平成20年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙調査)



平成20年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙調査)

【基本方針9】

子どもたちの豊かな心をはぐくみます

次代を担う子どもたちが、社会人として必要な規律、規範を身に付け、よりよい社会を創っていくという高い「志」を持ち、人として充実した人生を送るために必要な「夢」をはぐくむ教育を推進していきます。

（重点項目 29）子どもの成長過程に応じた教育の充実

- ◇ 小・中・高校を通じて志や夢をはぐくむためのカリキュラムや副教材を作成します。道徳教育を推進するとともに、高校生に対し、社会人として自立し、社会の発展に寄与する態度をはぐくむための「志」学を推進します。また、人と人との信頼関係や豊かな人間関係を育て、互いに認め合い尊重し合う体験活動を推進します。
- ◇ 運動系、文化系ともに部活動の活性化を図ります。
- ◇ 各校種においてキャリア教育を推進するとともに、専修学校との連携を図ります。

（重点項目 30）人権教育、障がい者理解教育、国際理解教育、福祉教育の推進

- ◇ 自他の人権を守ろうとする意識・態度を醸成し、実践力を育成するため、自他の尊厳や価値、文化や習慣等の違いを尊重できる効果的な取組みを推進します。
- ◇ 障がいのある子どもと障がいのない子どもがともに学び、ともに育つことができるよう、障がい者理解教育を推進します。
- ◇ 小学校における外国語活動や外国の人々との交流を通して、国際共存・協調時代を生きるための国際感覚を醸成します。また、在日外国人児童生徒が自らの誇りや自覚を高めることができるよう、指導を一層工夫・改善します。また、帰国・渡日児童生徒の受入れ体制の整備、日本語指導、教科学習指導、進路指導など学校生活の支援を図ります。
- ◇ 人とのふれあい（実体験）を通して、他人を思いやる心や社会に貢献する意義を認識し、実践する態度を養います。

（重点項目 31）読書活動の推進

- ◇ 学校・家庭・地域の連携強化により、子どもが乳幼児期・学齢期などそれぞれの発達段階に応じて、様々なところで読書を楽しめる環境づくりを進めます。
- ◇ 府立図書館における子どもの読書活動推進機能を強化するとともに、公立図書館と学校図書館の連携を促進します。
- ◇ 全校一斉読書の取組みなどを通して、子どもたちに読書習慣を身に付けさせます。

（重点項目 32）社会全体での「こころ」をはぐくむ取組みの推進

- ◇ 生命の大切さ、思いやりや感謝、努力する心など一人ひとりが社会の一員として大事にした「こころ」を子どもだけでなく大人に対しても呼びかけます。
- ◇ トップアスリートとのふれあいをはじめ、本物のスポーツ・芸術・文化にふれることにより、子どもたちが夢や憧れを抱き、スポーツ・芸術・文化のすばらしさや楽しさを知る取組みを推進します。

（重点項目 33）歴史・文化等に関する教育の充実

- ◇ 国宝などの多様な文化財、府立博物館、その他文化施設や芸術・文化などを教育資源として積極的に活用することで、地域社会に根ざした学び、本物にふれる学びを実現し、我が国と郷土への誇りや大阪の伝統・文化を愛する心をはぐくみます。
- ◇ 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への登録を推進します。
- ◇ 文化・芸術にふれる機会を広げることで、子どもたちの感性を高め、豊かな情操を養います。